

須磨海岸における 里海活動推進のためのアイデア提案

神戸女子大学 地域居住学研究室

立石佳子 三宅礼華 橋本唯

目的

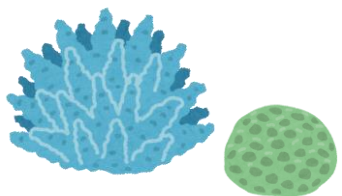


➤ 里海環境保全の対象となる海岸線の存在

➤ 持続的な里海の環境保全

→ 「個々がその取り組みに関心を持つこと」が必要

➔ 市民の海への関心を広げ、子どもが安心かつ楽しく活動をする





**豊かな里海を目指す
「須磨海岸」での遊びに関する調査**

アンケートの概要

- 実施期間：2022年7月26日～2022年8月12日
- 回答者数：189名
- 調査方法：SNSを利用してGoogleフォームを送信する。



Q1-1：属性（図1）（単一回答）
Q1-2：居住区（図2）（単一回答）
Q1-3：性別（図3）（単一回答）
Q1-4：年代（図4）（単一回答）
Q1-5：骨子のポイント⑥の中で関心を持ったキーワード（図5）（単一回答）
Q1-6：1-5の回答を選んだ理由（自由記述）
Q1-7：骨子に関する自由意見（自由記述）
Q2：過去5年間の須磨海岸の利用状況（図6）（単一回答）

Q3-1：須磨海岸の利用頻度（図7）（単一回答）
Q3-2：須磨海岸を誰と一緒に利用するか（図8）（単一回答）
Q3-3：須磨海岸の利用目的（図12）（複数回答）
Q3-4：須磨海岸の良い点（図16）（3つまで回答可）
Q3-5：須磨海岸の改善すべき点（図17）（3つまで回答可）

Q2にて「遊んだことがない」と回答した人のみ回答

Q4-1：過去5年間の須磨海岸以外の利用状況（図9）
Q4-2：須磨海岸を利用しない理由（図13）（3つまで回答可）
Q4-3：訪れたい海岸の要素（図14）（3つまで回答可）

Q5-1：子どもが海で遊ぶことに対する意見（図18）（単一回答）
Q5-2：子どもの遊び環境として須磨海岸は適していると思うか（図10）（単一回答）
Q5-3：5-2の回答を選んだ理由（自由記述）
→Q5-2にて「遊びに適している」または「遊びに適していない」と答えた人のみ回答

Q6-1：須磨海岸の生き物と触れ合うイベントに興味があるか（図19）（単一回答）
Q6-2：興味があるイベントは次のうちどれか（図20）（3つまで選択可）

Q7-1：回答者自身が子どもの頃、須磨海岸で遊んだことがあるか（図11）（単一回答）
Q7-2：どのような遊びをしていたか（図15）（自由記述）
→Q7-1にて「遊んだことがある」と回答した人のみ回答

Q8：1年を通して子どもたちが須磨海岸で遊ぶためにはどのような環境整備が必要だと思うか（自由記述）

アンケート結果について



回答者の属性

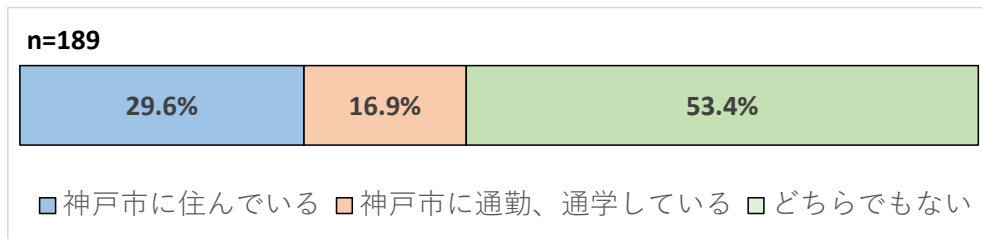


図1. 属性 神戸市在住または通勤通学者が約半数

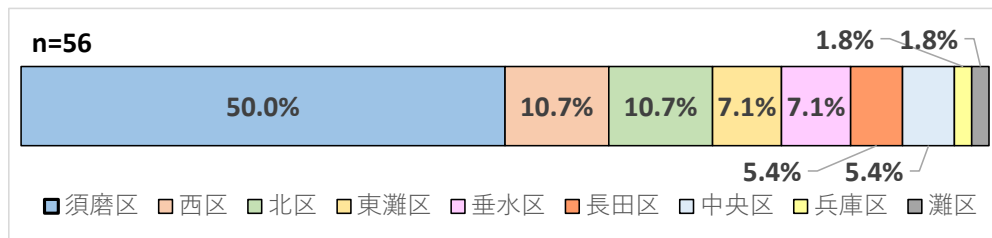


図2. 居住区 須磨区在住が多い

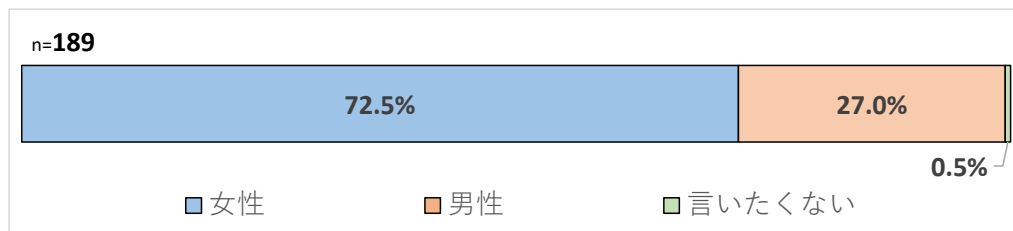


図3. 性別 女性の回答者が約7割

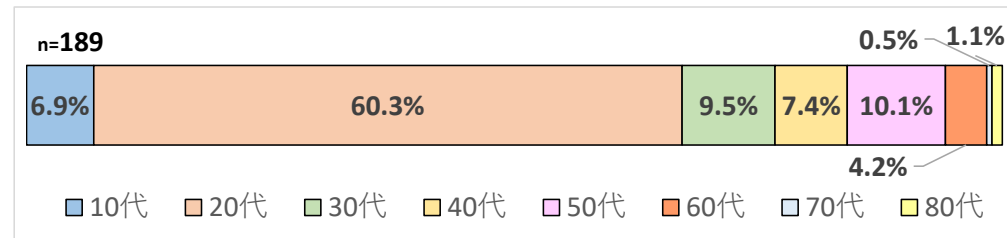


図4. 年代

20代の回答者が約6割だが、10代から80代まで幅広い層の回答が集まった

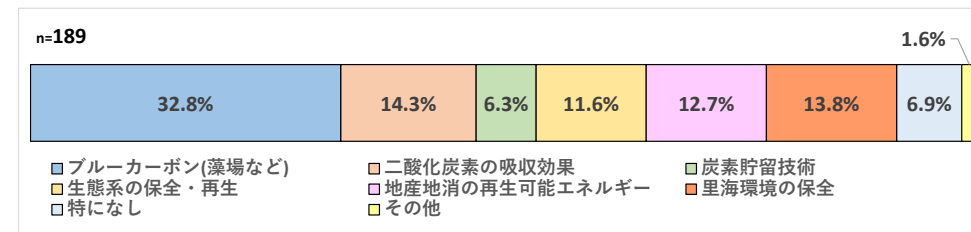


図5. 骨子の中で興味を持ったキーワード

ブルーカーボンの選択理由は聞きなじみがないことが挙げられた

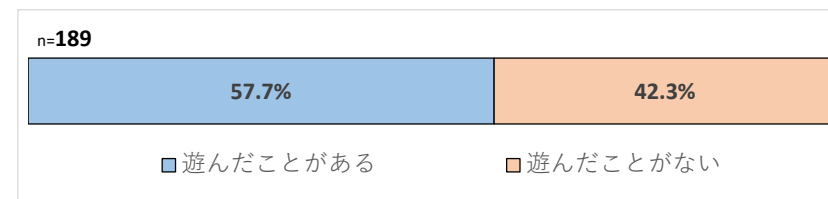


図6. 過去5年間の須磨海岸の利用状況

過去5年間に「遊んだことがある」は57.7%で、図1「どちらでもない」回答者も須磨海岸を利用していることが分かる

須磨海岸の利用者

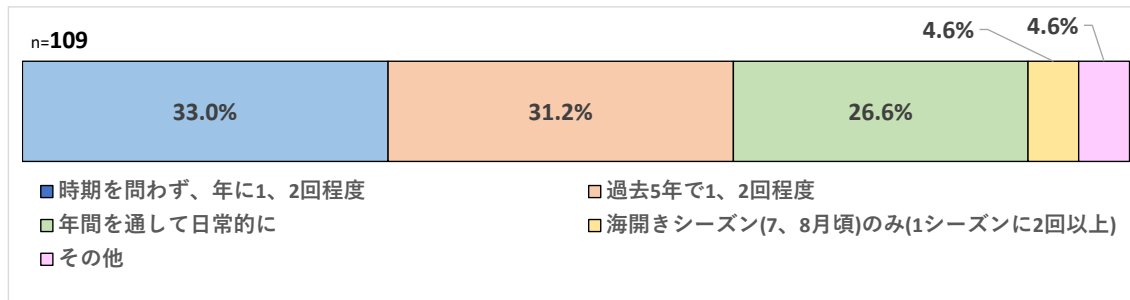


図7. 須磨海岸の利用頻度

「年に1,2回程度」、「過去5年間で1,2回程度」が多い

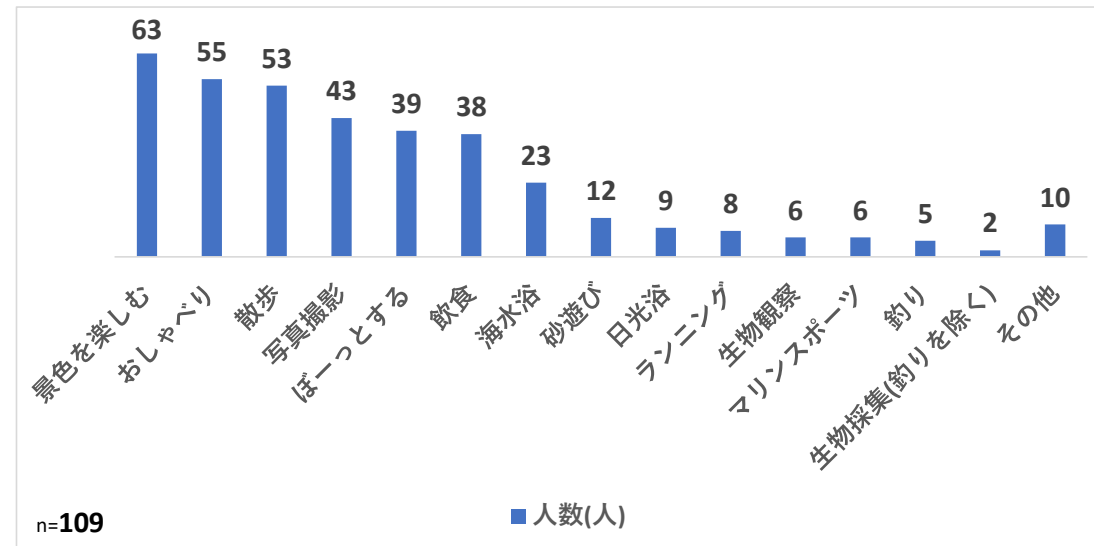


図12. 須磨海岸の利用目的

「景色を楽しむ」、「おしゃべり」は半数以上の人を選択している。散歩をする人は一定数いるが、運動目的の人は少ない。

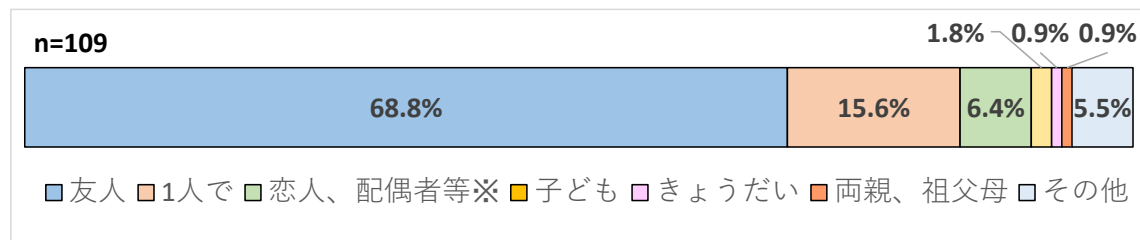
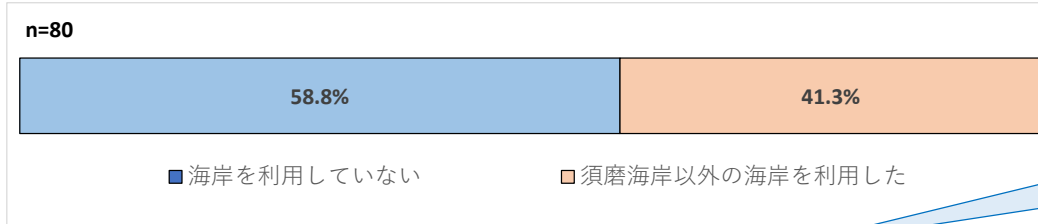


図8. 須磨海岸を誰と一緒に利用しているか

「友人」と利用する人が過半数を占める

須磨海岸の未利用者



過去5年間で海を利用していない人は47名（全回答者189名うち約25%）

図9. 須磨海岸以外の海岸の利用状況

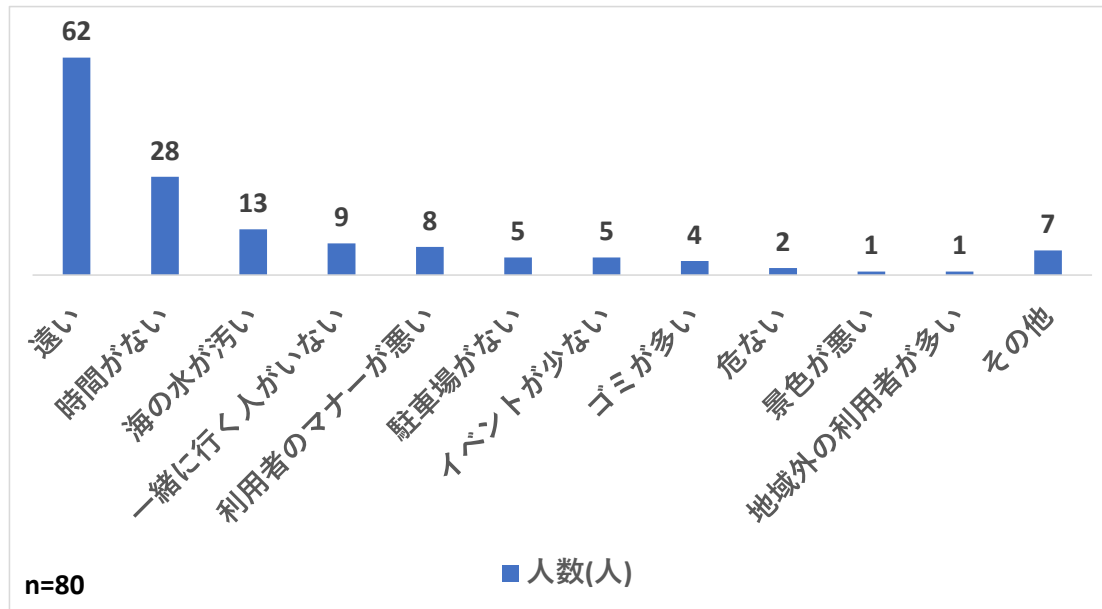


図13. 須磨海岸を利用しない理由

「遠い」が最も多い。「ゴミが多い」を選択している人は須磨海岸の利用者の回答(図17)と比較すると少ない。

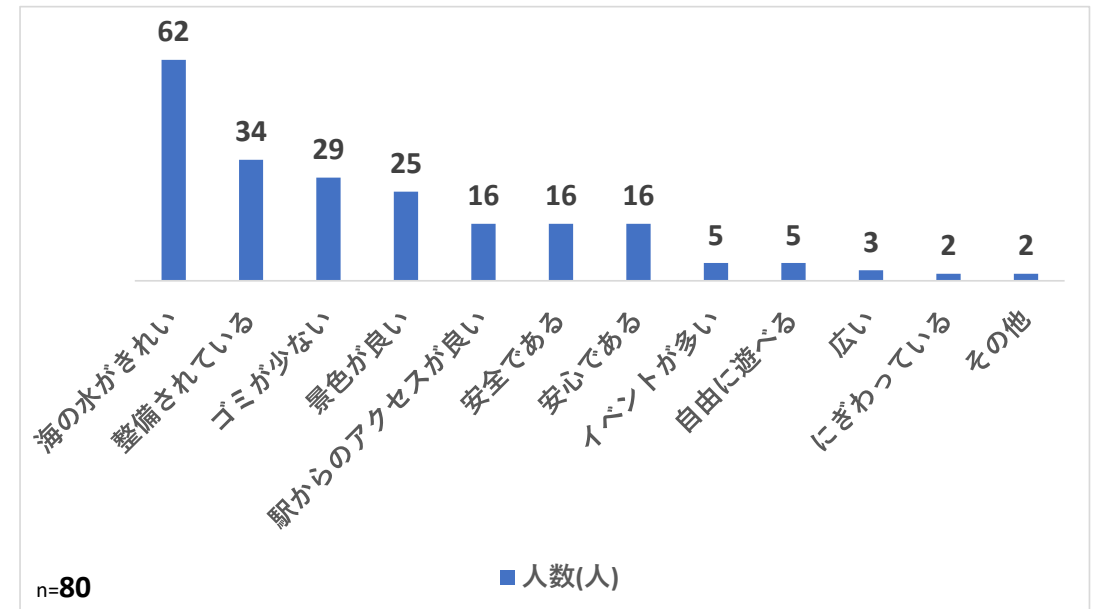


図14. 利用したい海岸の要素

イベントへの要望は少ない。「海の水がきれい」を選択する人が多く、海に入ることを想定する人が多いことがうかがえる。

子どもの遊びについて

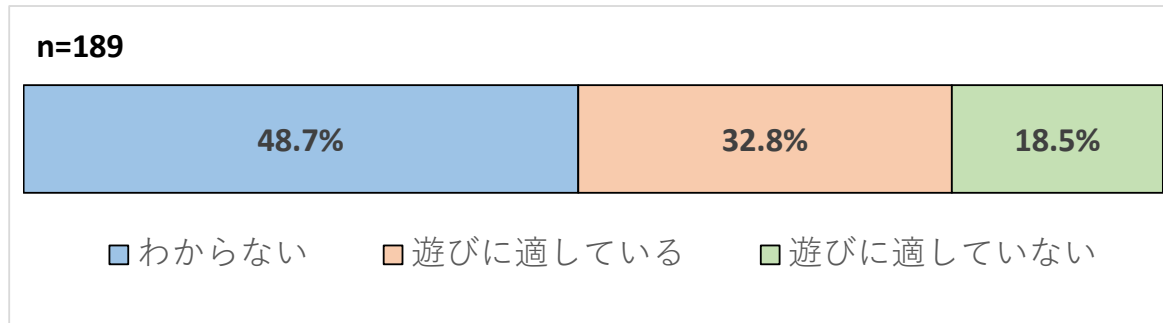


図10. 須磨海岸が子どもの遊び場に適しているか

「わからない」が約半数

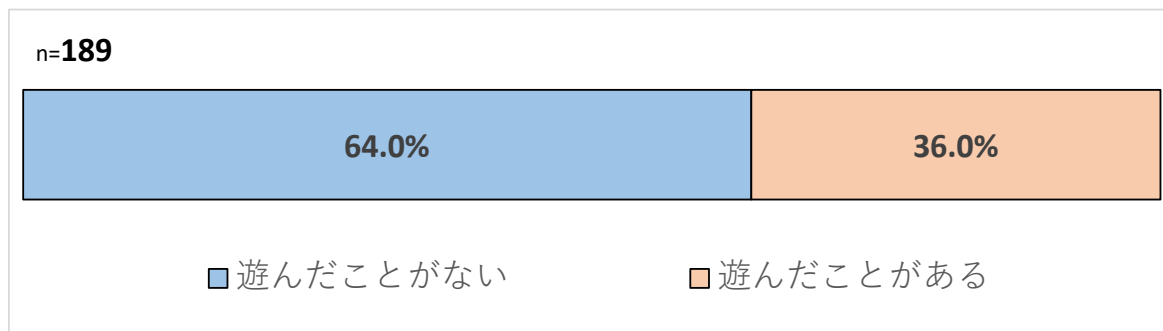


図11. 須磨海岸における子どもの時の遊び経験

子どもの頃に「遊んだことがある」は36.0%だが、神戸市在住者29.6%に対しては高い数値となった

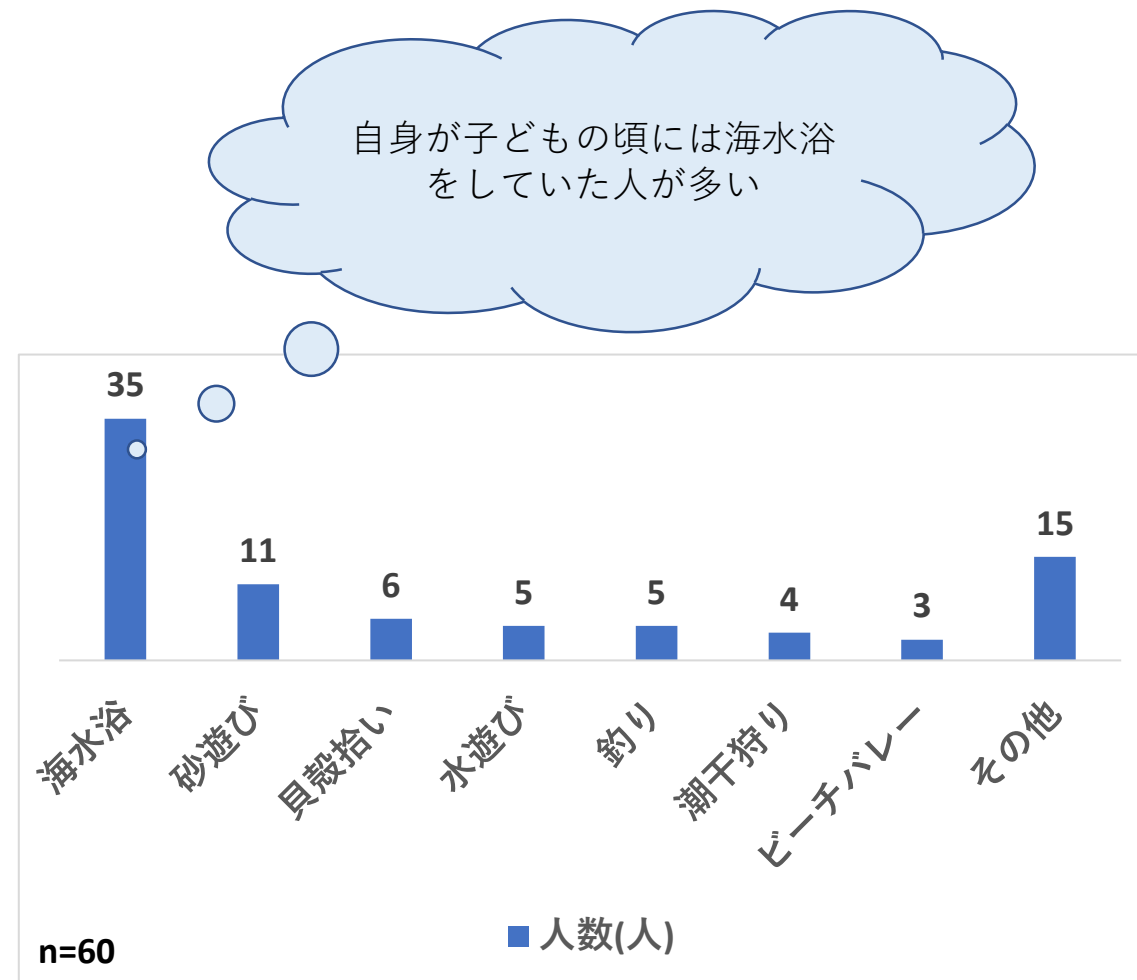


図15. 須磨海岸における子どもの頃の遊び内容

結果1-1 骨子についての意見



20代女性

*都市の中で自然も豊かな神戸からブルーカーボンへの取り組みが進むことで、地球温暖化対策はもちろん、海に面する都道府県に良い影響を与えらると思う。



20代男性

*骨子を読んで、神戸市は脱炭素ポテンシャルが非常に高いエリアであると感じた。



20代女性

*やはり社会全体にはあまり浸透していない印象。企業に勤めていれば聞くことはあれど、家庭レベルでご存知の方、気にされている方は稀な印象。



30代男性

*自然に目を向ける事を最優先でして欲しいと前々から思っていたので、嬉しいことだと思っている。その為、確実に着手して欲しい。



50代女性

*多くの市民に知ってもらうために簡易な言葉で伝えてほしい

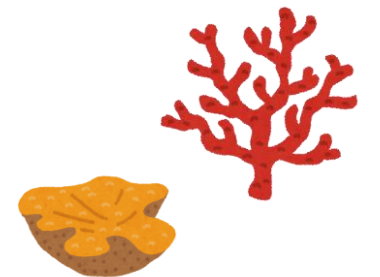
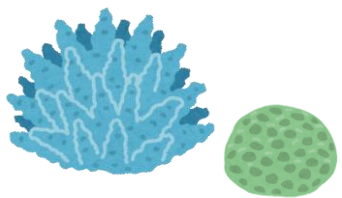


50代男性

*税金により行われることを考慮して費用対効果の検証も重要だと思う。

結果1-2 骨子についての意見の考察

- 神戸市の取り組みへの期待は大きい
- 現実味がない
- 骨子に目を通すことで興味を持った人がいる



結果2-1 須磨海岸の良い点

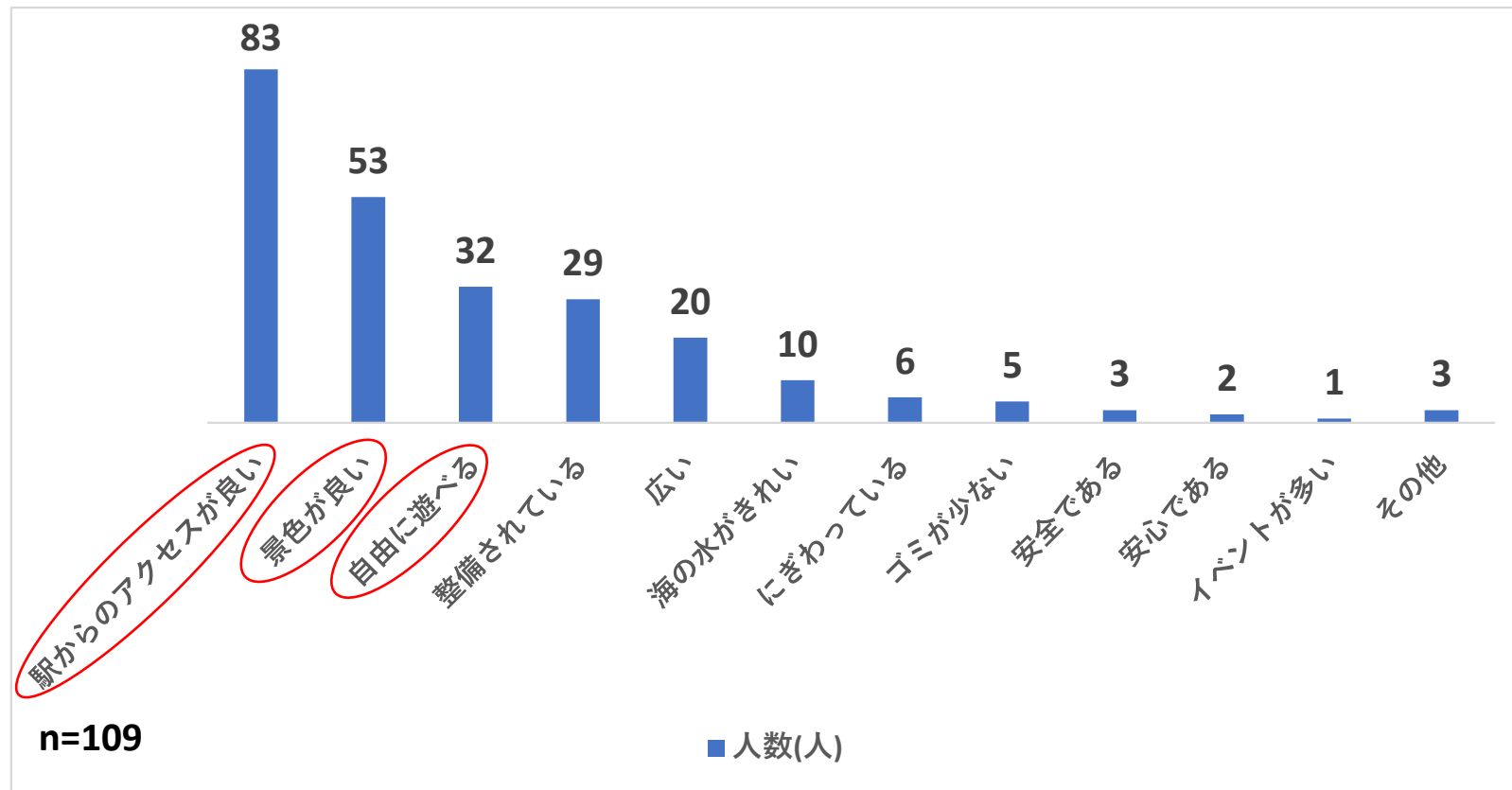


図16

- 自由に遊べて、実は小さな貝や生き物がたくさんいる。
- 見晴らしがよく子供を見失う危険がなく、子供も自由に動ける。

結果2-2 須磨海岸の改善点

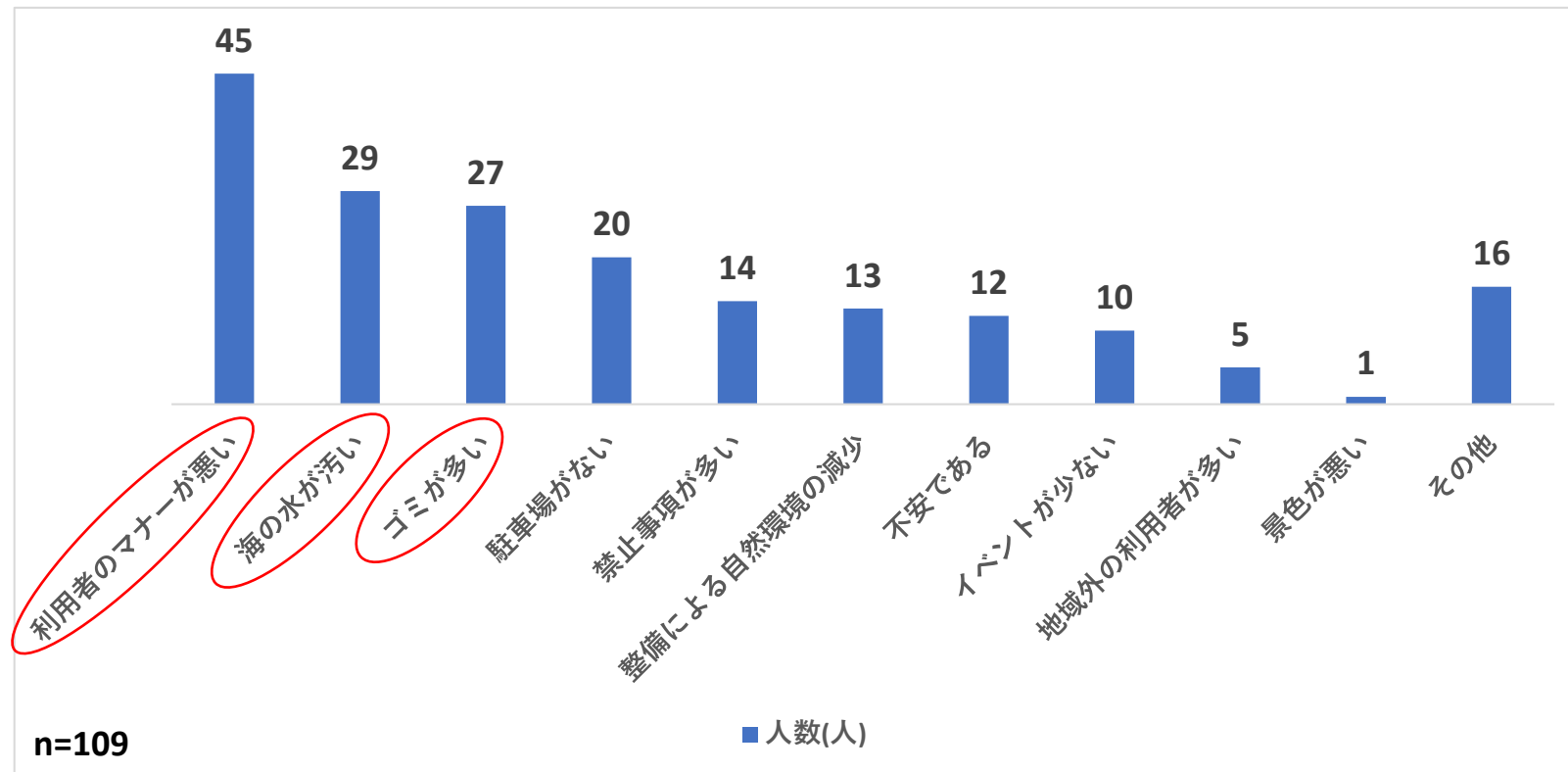
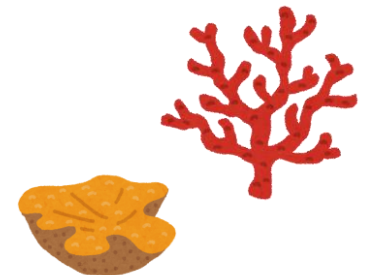
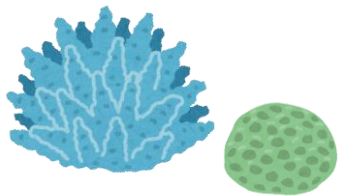


図17

- 深い溝のようなところが多く、柵などが無い
- マナーを守らない人がいる
- 家族連れを見ることが少ない



結果2-3 須磨海岸の良い点と改善点の考察

- 海は広い
→自然の遊び場としての活用に期待を持つ保護者がいる
- 大人の目が必要である一方、見通しが良いことは利点
- 海水浴シーズンは特にゴミ問題や治安悪化が増加する



結果3-1 子どもの海遊びとイベントについて

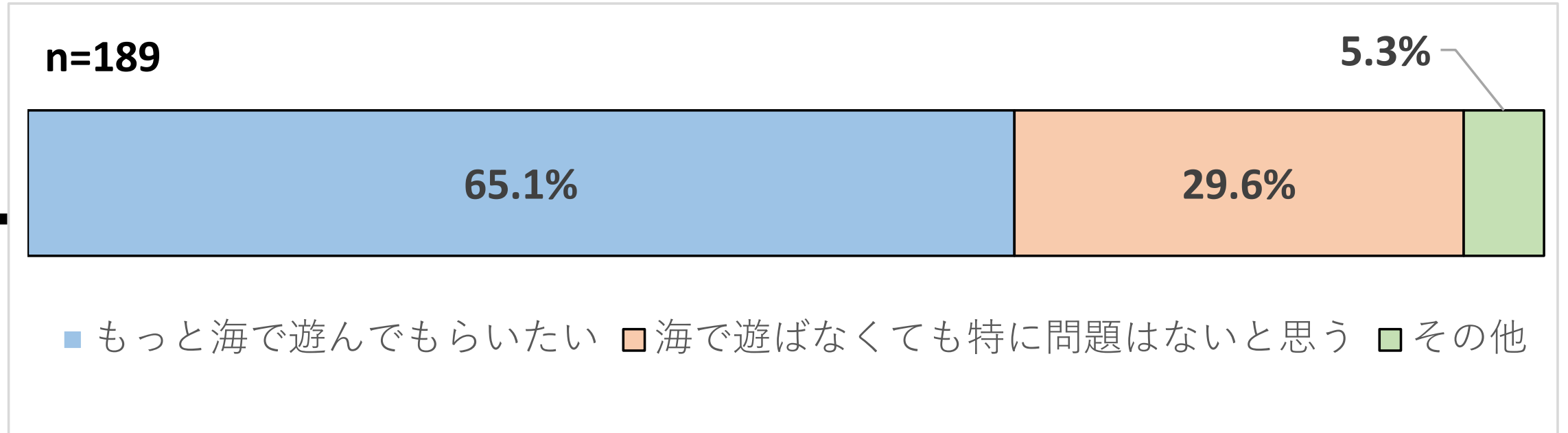


図18

子どもに「もっと海で遊んでもらいたい」と回答した人は半数以上を占めた

結果3-2 生物に関するイベントへの興味

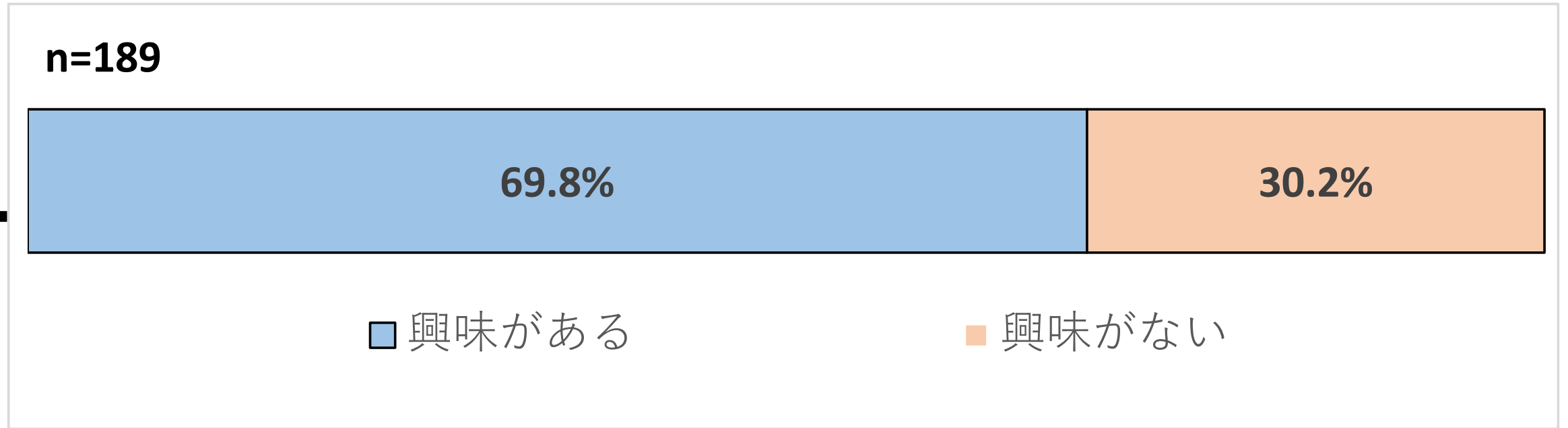
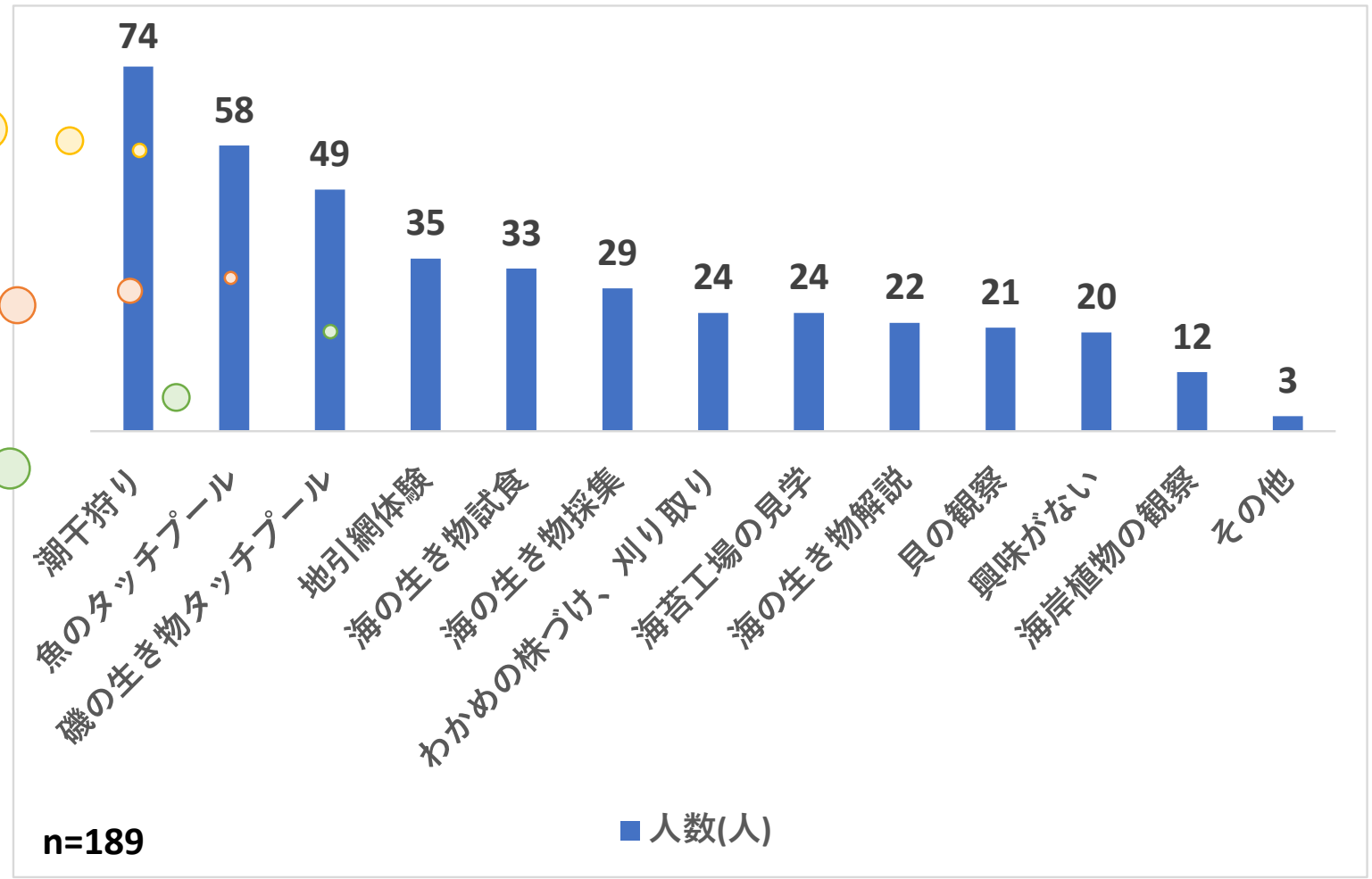


図19

イベントへの「興味がある」は69.8%(132名)

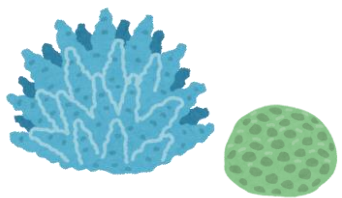
結果3-3 興味のあるイベント

- 1位 潮干狩り74名
- 2位 魚のタッチプール58名
- 3位 磯の生き物タッチプール49名



結果3-4 子どもの海遊びとイベントについての考察

- 子どもの海遊びの需要はある(Q5-1,図18)
- イベント例の提示
→「興味がない」と答える人が減少(Q6-2,図20)
- 海の生態系や里海活動に関係するイベントを実施
→海環境に興味を持つ人の増加



アンケート結果のまとめ

1.神戸市の環境対策案への期待は高い

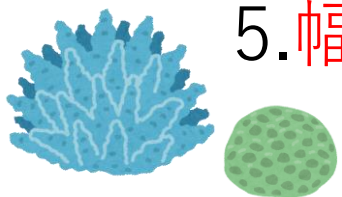
2.市民と共に実施可能なゼロカーボン事業を行うことが必要

3.海に関心を持ってもらう

→市民自らが「海環境を改善したい」と考え、里海事業につながる

4.生物多様性と気候変動の相互関係の理解

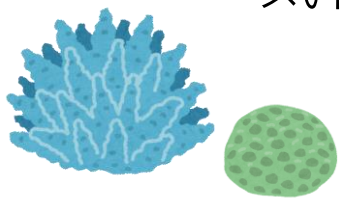
5.幅広い視点での海環境改善が必要



A scenic view of a beach with a blue sky and ocean in the background. The foreground is a sandy beach, and the middle ground shows the blue ocean with some distant structures. The sky is a clear, light blue with some faint clouds.

須磨海岸の 現在のイベント実施状況

- ▶ 潮干狩りやタッチプールイベントの需要が高い
→ 実際に須磨海岸の利用目的として挙げた人は少なかった
- ▶ すまうら水産、スマハマプロジェクト、Suma豊かな海プロジェクト2022
- ▶ 魚のタッチプールが週1回開催(2022年)
- ▶ 実施予定の人気イベントは定員制や予約制
→ 気軽に参加できるイベントとは言えない



私たちの提案



提案1 須磨海浜水族園によるイベント

- 須磨海浜水族園が須磨海岸で行うお出かけイベント
- 2022年9月現在、企画展開催中



↑ 高知県立足摺海洋館HPより、
海の生き物採集ツアーの様子



↑ 高知県立足摺海洋館HPより、
ツアー後のバックヤードの様子



↑ 須磨海浜水族園HPより、
ビニール袋とミズクラゲの比較展示

提案2 気軽に参加できるイベントの企画

例) サンドアート

道具の貸し出しと使い方の説明

- 予約や抽選が必要なイベント
→ 偶然立ち寄った人が参加できない

- 遊びの発展
→ 遊びのきっかけ作り、
砂浜のゴミ問題の解決、
大人が見守る遊び場作り



サンドアート実施の様子



提案3 須磨区外の市内の団体との連携

例) 「工作ワンダーランド」、「ちびっこうべ」(2012年～)

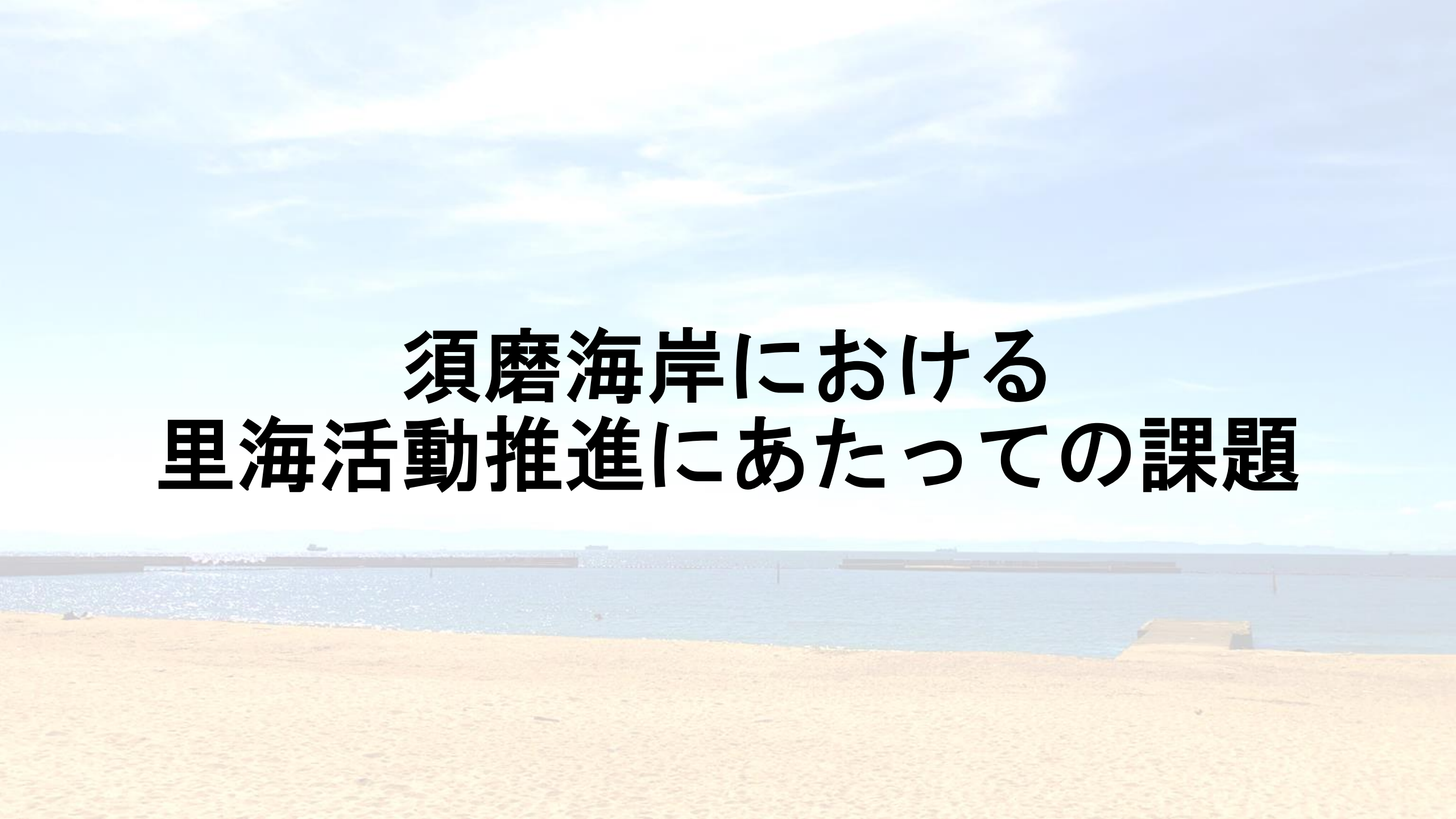


神戸市HPより工作ワンダーランド



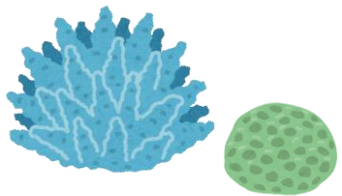
神戸市HPよりちびっこうべ2022

- 須磨区外の関係機関や諸団体とのコラボや出張イベント
- 工作などのワークショップは年間を通して体験が可能
 - 海の漂着物等の素材を利用したイベント
 - 子どもの遊び体験、自由研究のきっかけなど



須磨海岸における 里海活動推進にあたっての課題

- ▶利用者の多くがごみの問題を指摘(図17)
- ▶海洋から打ち上げられるごみ+持ち込みごみ
 - 利用者自身のゴミの持ち帰り+クリーンアップ事業の推進
- ▶利用者のマナーは公共空間における大きな課題
 - 遊びとしてのクリーンアップ
 - 道具の整備、集めたごみの収集などの体制整備



参考

- 生物多様性と気候変動 IPBES-IPCC合同ワークショップ報告書：IGESによる翻訳と解説
<https://www.iges.or.jp/jp/pub/ipbes-ipcc-ws/ja> (8月17日閲覧)
- 神戸海さくらホームページ <https://k-umisakura.com/> (2022年8月22日閲覧)
- 神戸市立須磨海浜水族園企画展 https://kobe-sumasui.jp/news/umi_gomi_zero/
- 神戸公式観光サイト <https://www.feel-kobe.jp/event/12711/> (2022年8月26日閲覧)
- すまうら水産ホームページ <https://sumaurasuisan.jp/services/shiohigari> (2022年8月26日閲覧)
- Suma豊かな海プロジェクト-2022- <https://sumaurasuisan.jp/yutakanaumiproject2022/> (2022年8月26日閲覧)
- 須磨海浜水族園旧ホームページ ドルフィンコーストプロジェクト
<https://www.sumasui.jp/info/2013/05/post-165.html> (2022年9月6日閲覧)
- 神戸市ホームページ 工作ワンダーランド <https://www.city.kobe.lg.jp/a05822/design/kiitopress33.html> (2022年9月6日閲覧)
- 神戸市ホームページ ちびっこうべ <https://www.city.kobe.lg.jp/a05822/design/kiitopress26.html> (2022年9月6日閲覧)
- ちびっこうべホームページ <https://kiito.jp/chibikkobe/> (2022年9月6日閲覧)
- 高知県竜串水族館ホームページ イベント・企画展 <https://kaiyoukan.jp/event.html?id=284> (2022年9月6日閲覧)